

理工学 メディアセンター ニュース



Information and Media Center
for Science and Technology
Newsletter

新サービス

院生スタッフによるラーニングサポート

理工学メディアセンターの院生スタッフによる「ラーニングサポート」の窓口を新たに開設しました。担当の院生スタッフの経験をもとに、理工学部の皆さんの学習・研究に関するアドバイスをを行います。ぜひお気軽にご利用ください。

【時間】平日13:00 - 15:00(学期期間中のみ)

【場所】理工学メディアセンター本館1階レファレンスデスク

詳細は、理工学メディアセンターWebサイトをご確認ください。

[サービス] -> [院生スタッフによるラーニングサポート]

http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/service/learning_support.html

物理情報工学科

伊藤公平先生の1冊

『逝きし世の面影/渡辺京二著』

配架場所：創想ライブラリー

請求記号：SS@210@W1@1



著者は、江戸末期の日本の庶民生活が、個人の独立、美意識、職人芸、道徳観、質実剛健の意識をバランスよく持ち合わせたことに着目し、第1章において日本の特異な庶民文明が明治の文明開化によって滅びたと論ずる。つづいて庶民文明の詳細が、面白い事に当時の日本を訪れた外国人の記録をもとに紐解かれる。読み進めるにつれて文化と文明の違いはどこにあるかを考えさせられる。また全体を通して、そのころの日本を取り戻そうといった力みが全く感じられないのが清々しい。あとがきに「私の関心は自分の「祖国」を誇ることにはなかった」と著者が記すとおりだ。変革では常に得られるものと失われるものがある。文明開化で得られたものは福澤先生の『文明論之概略』が明快に示している。合わせ読むと実に面白い。

Contents

新サービス：ラーニングサポート P.1

アインシュタイン展示 P.1

掲示板新設 P.2

理工学部紀要の公開 P.2

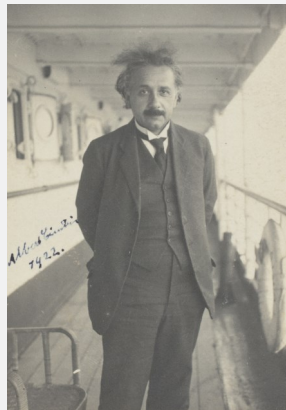
曜日	担当	学科	学年
月	阿孫	管理工学科	修士1年
火	川内	物理情報工学科	修士2年
水	山田	物理情報工学科	修士2年
木	中島	システムデザイン工学科	修士1年
金	定光	化学科	修士1年

※担当スタッフは予告なく変更になることがあります。



企画展示

アインシュタインの見た日本



1922年秋ノーベル物理学賞を受賞したアインシュタインが、来日しました。第1回講演会が行われたのが慶應義塾大学の大講堂でした。ノーベル賞受賞者の講演を聞こうと2,000人を超える一般聴衆が三田山上に集まり、休憩をはさんで6時間にわたる熱弁に耳を傾けました。その後も日本各地で講演会が開催され、アインシュタインは大歓迎を受けました。

今回の展示は、三田メディアセンターで開催された展示会の内容を、当時の様子を知る資料と、アインシュタインが来日経験を雑誌『改造』に発表した記事の草稿に焦点を当てて再編成しました。6月11日-13日は特別展として、自筆草稿を展示します。自筆草稿はアインシュタインと親交のあった、九州帝国大学医学部三宅速(みやけはやり)教授のご遺族、比企寿美子氏から2014年1月に慶應義塾に寄贈されたものです。

【期間】2015年6月8日(月) - 7月31日(金)

【特別展示】2015年6月11日(木) - 13日(土) 3日間

アインシュタイン著『私の日本旅行雑感』の自筆草稿をご覧ください。

※この3日間以外は、自筆草稿の複製をご覧ください。

【場所】理工学メディアセンター 創想館1階

科学者という目線ではなく、一人の人間としての洞察力や日本に対する温かいまなざしを読み取ることができるでしょう。

メディアセンタークイズ

421.2

何の数字でしょう？

ヒント：本を探すのに便利な数字です。

答えは紙面のどこかに・・・

今月の1枚： 清川泰次「白の世界No.62」



メディアセンター本館の壁にかかっているこの抽象画を、じっくり眺めたことがある方はどの位いるでしょうか。白い壁面に溶け込んでしまいそうな静かな佇まいのこの絵は、塾員であり洋画家・立体作家の清川泰次氏(1919～2000)によるものです。清川氏は経済学部出身で、多くの作品が、国内のみならず海外の美術館にも収蔵されています。慶應義塾にも絵画や立体作品を寄贈され、それらは矢上、日吉、SFCの各キャンパスで見ることができます。理工学メディアセンターには、「白の世界」として知られる一連の作品のうち、No.60とNo.62が本館1、2階に展示されています。図書館にふさわしい静謐な世界にふれてみてください。

また成城にある清川泰次氏のアトリエ兼自宅は、死後、清川泰次記念ギャラリーとして公開され、年2～3回入れ替えをしながら、作品を紹介しています。

お知らせ

新しい掲示板がデビューしました

今年3月、本館1階の自動扉の脇に、新たに大きな掲示板を作りました。メディアセンターからのお知らせや、慶應義塾が開催するイベントなどをご案内をしています。学内で無料開催されるイベントは意外と沢山あります。またアルバイト募集のお知らせなども貼られることがありますので、メディアセンターに来た時にはどうぞチェックしてみてください。

ラックにおいてある美術展や展示会の招待券は早い者勝ちです。「リサイクルブック」に置いてある広報誌や書籍類も、ご自由にお持ち帰りいただけます。入れ替えのタイミングは不定期ですが、時には掘り出し物(?)もでるようで、すでに密かな人気スポットです。



専門書の最新版を購入したときは、古い版をリサイクルに出すこともあります。

学術リポジトリ

理工学部の紀要がKOARAで公開されました

理工学部の紀要"Keio science and technology reports"(1948-2008)が慶應義塾大学学術情報リポジトリ「KOARA」で公開されました。



【アクセス方法】
<http://koara.lib.keio.ac.jp/xeonips/>
右側のインデックスから
[理工学部] -> [Keio science and technology reports]
をクリックすると各号の全文をご覧いただけます。

慶應義塾大学学術情報リポジトリ KOARA(コアラ)(KeiO Associated Repository of Academic resources)では、慶應義塾大学の学術成果、教育研究用資料を電子的な形態で収集・蓄積・公開しています。KOARAに搭載されたコンテンツには、学術情報として流通しやすくするためのデータを付加しており、Google Scholar、CiNiiをはじめ国内外からの効果的な検索を可能にしています。登録に関するお問い合わせは、理工学メディアセンターまたはメディアセンター本部デジタル化事業担当者までご連絡ください。 koara_info@lib.keio.ac.jp

発行

慶應義塾大学理工学メディアセンター

〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1

TEL: 045-566-1477

FAX: 045-566-1486

E-mail: riko-info@lib.keio.ac.jp

Web : <http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/>

Twitter : <https://twitter.com/scitechmckeo>

電子版は、ΣStarからご利用ください。

理工学メディアセンター機関リポジトリ

ΣStarでは理工学部の研究・教育成果のうち、電子化され、著作権者の許諾が得られたものを公開しています。学位論文・プレプリント・リサーチレポート・その他教材など、登録のご相談は理工学メディアセンターまでお寄せください。(理工学メディアセンターWebサイトのバナーからΣStarに移動できます)



リコ☆ニュース購読受付中!

新サービス、データベースや電子ジャーナル、各種セミナーやイベントなどのお知らせをメールでお届けします。

こちらのQRコードか、理工学メディアセンターWEBサイトの「申し込む」メニューよりお申し込み下さい。

(対象:慶應義塾大学在籍者)



メディアセンタークイズ

アインシュタインが提唱した「相対性理論」の分類番号です。この分類番号はメディアセンターで使用している、本の内容を表す数字です。背表紙に書かれているので、この数字を頼りに探してみてください!